横浜市立中川中学校だより２月号　　令和４年２月２日

なか中　便　り

〒224-0027　横浜市都筑区大棚町２４０
TEL: 045-592-3701　Fax: 045-593-5942
E-mail:　ky-yj-nakagawa@city.yokohama.jp

《学校教育目標》

信頼と共感　～夢をもって挑戦し続ける生徒たち～

◇育てたい生徒像◇

【知】自ら考え行動し、意欲的に学び続ける生徒
【徳】ルールやマナーを守り、人を思いやる優しい生徒
【体】心身をきたえ、たくましく生きる生徒
【公】役割を自ら求め、地域や社会に貢献する生徒
【開】共生・多様性を尊重し、未来を創る生徒

中川中スクールキャラクター
「みどりん」

「こだまでしょうか」に思うこと

安藤位彦

「こだまでしょうか」
金子　みすゞ
「遊ぼう」っていうと
「遊ぼう」っていう。
「ばか」っていうと
「ばか」っていう。
「もう遊ばない」っていうと
「遊ばない」っていう。

そうして、あとでさみしくなって、
「ごめんね」っていうと
「ごめんね」っていう。

こだまでしょうか、
いいえ、だれでも。

先日、自宅の本棚を見たとき、金子みすずさんの本を見つけました。その詩集の中に、「こだまでしょうか」がありました。生徒の皆さんは 10 年以上前のことなので覚えていないかもしれませんが、東日本大震災の時、テレビからＣＭが消え、唯一流れたのがＡＣジャパン（日本広告機構）の放送でした。この時この詩が何度も流れたので、保護者の皆様は耳に残っている人も多いのではないでしょうか？

「金子みすゞ館」の矢崎節夫館長は、この詩を次のように解説されています。（佼成出版「金子みすゞのこころ」より）

『こだまとは、“丸ごと受け入れる“ことです。かつて、私達のまわりにいてくれた、すてきな大人たちは、こだましてくれる人達でした。ころんで「痛い」といった時、両親は「痛いね」と、私の痛さを丸ごと受け入れてくれて、返してくれました。こだまは、「ヤッホー」といったら「ヤッホー」と半分の大きさになって返ってくるわけですから、「痛いね」と返してくれた時、私の痛さは半分になることができたのです。しかし、今、私を含めた多くの大人が、こだますことをしないで、一方的に否定し、一方的に励ましてはいないでしょうか。ころんで「痛い」と いった時、「痛くない」といっていないでしょうか。すぐに「がまんしろ」といっていないでしょうか。“このお父さん、お母さんなら愛してくれると思って生まれてきてくれた小さい人たち“の痛さを否定し、励ますだけで、一度もこだましてあげることをしなければ、痛さは消えることなく、生のまま、こころの中の辛さやさみしさや痛さという器に、押し込めるしかないのです。（中略）私達のまわりはすべて、光と影のように、昼と夜のように、見えるものと、見えないもののように、二つで一つなのです。二つで一つということを、きちんと認識する行為が、こだまなのです。』

この解説を読んだとき、私は「こだまする心を持ち続けていただろうか？」と考えましたこの解説の中で、「こだまする心」の大切さを「喜びは分け合うと倍になり、悲しみは分け合うと半分になる。」という言葉で表しています。現在、コロナ第６波で世の中は不安がうごめいています。人

はどんな行動をすべきなのでしょう。少なくとも絶対に倍にしてはいけないと思うのです。不安の連鎖ではなく、多くの人と分け合い、限りなく小さくすること、そしてそこから生き方を見いだすことがとても大切なのではないでしょうか。

まもなく卒業式です。３年生は「なか中の顔」として、今までいろいろな制約の中で活動をし、本校の伝統を築いてくれました。体育祭・文化祭等、大きな力を発揮してくれました。本当に立派な３年生でした。そしてこれから高校受験という一つの壁を乗り越え、これまでのつらさや喜びを様々に感じながら、次のステップへの夢と希望と不安を胸に秘め、日々過ごすこととなると思います。卒業する皆さん、どうか大きな視野をもち、「こだまする心」をもった大人になってください。もちろん私たち大人も、今一度こだまする心を意識して、子ども達と接していかなければと思います。

３学期始業式

１月７日昨日降った雪で中川中から見る景色がとてもきれいに見える中、３学期が始まりました。始業式では、副校長先生が「一年計は元旦にあり」というお話から目標を立てる大切さを、生徒会本部役員の榮喜さんからは、「次の学年に向けての目標つくり」新たな生活に向けての希望について素晴らしい話がありました。その全文を載せましたのでご覧ください。

～生徒会本部役員の榮喜です。

二週間の冬休みが明け、今日から３学期が始まります。冬休み前、生徒会本部役員の来摩さんが話していた通り、悔いの残らない冬休みを過ごせましたか。過ごせた人も過ごせなかった人も３学期は今日から。冬休みは延長しません。一年生は先輩となる日が、二年生は最終学年となる日が、三年生の皆さんは卒業の日が近づいてきています。３学期はその前段階です。次の学年に向けて目標を設定し、達成に向けて頑張りましょう。

また、３学期は今いるクラスで過ごせる最後の学期でもあります。４月になると、周りにいる人は変わります。今のクラスのメンバーと受けられる授業も、参加できる行事も残りわずかです。１秒１秒を大切にしながら過ごしましょう。

私の好きな言葉の一つに“夜明け前が一番暗い”というものがあります。苦難の時期では、終わりかけの頃が最も苦しい。しかし、それを乗り越えれば必ずいいことがあるという意味です。また、明けない夜はないという意味も含んでいます。今、私たちは寒い冬でコロナ禍にいます。悲しいニュースを聞いて暗い気持ちになることもあります。しかし、希望をもって行動し続ければ、きっといいことがあります。春になれば暖かくなり、新たな生活が始まります。それまで諦めず行動し続けましょう。

図書委員会・英文書道部

校舎内を回るとあちらこちらに１月の季節の装いがありました。英文書道部（カリグラフィ部）は昇降口に作品を張り、図書委員会では１月のお楽しみとして要望箱(お賽銭箱に似せて紙のお賽銭に本のリクエストを書いて入れる）、だるまプレゼント（本を借りた人に手製のだるまをプレゼント）、おみくじ箱（おみくじには学業やおすすめの本などが書いてあります）を作成していました。来室した人にはどれも好評でした。ちなみに私はおみくじを引き、おすすめの本は『中高生の勉強″まだまだ”あるある、解決します』でした。「もっと学習しなさい」ということですかね。

個別支援学級市合同学芸会

１月１８日、個別支援学級市合同学芸会が、西公会堂において開催されました。コロナ感染症蔓延のため昨年度は中止となってしまいましたが、今年は感染防止対策を徹底し、区毎に半日単位で行うことができました。１年ぶりで少し緊張もしていましたが、４人でチームワークよく演技ができました。

中川中学校の演題は、『和太鼓』です。日頃から練習を積み重ね、その成果が存分に発揮されたすばらしい発表でした。力強い太鼓の音が公会堂に響き、観客席の皆さんから大きな拍手をいただきました。

１年パラパラ漫画

１月２１日１年生の総合の時間に授業参観用に制作した「パラパラ漫画」の上映会を行いました。本来なら授業参観で発表するはずでした。このような事態になりましたので、残念ながらお見せすることができませんでしたが、全部で３０作品、子供らしい楽しいものが作られていました。

美化委員会

１月２６日、美化委員会で卒業式に向け「プランターの花の植え替え」を行いました。花自体はまだ小さいですが、卒業式のころには育って立派な花道になることでしょう。

書初め

冬休みの国語科の課題としている書初めの優秀作品を、毎年職員室の前に掲示していました。生徒たちの新しい年への思いが大きく書かれた作品が並び、すがすがしさを感じさせてくれます。冬休み中、ご家庭でのご協力もありがとうございました。

【２月行事予定】　スクールカウンセラー来校日　１日・８日・１５日午前・２２日

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	火	第 3 回定期テスト(3 年)	16	水	第 3 回定期テスト(1, 2 年)
2	水	G-day(放送)　専門委員会(15:00)　部活動なし	17	木	第 3 回定期テスト(1, 2 年)
3	木		18	金	
4	金	共通選抜志願変更期間(～2/8)	19	土	
5	土		20	日	
6	日		21	月	
7	月	新入生保護者説明会(You Tube 配信開始)	22	火	3年百人一首大会
8	火		23	水	
9	水	G-day(学級)	24	木	
10	木	3 年卒業期時間割開始　諸活動なし	25	金	諸活動なし
11	金	諸活動なし	26	土	
12	土	諸活動なし	27	日	3年卒業旅行
13	日	諸活動なし	28	月	3年卒業旅行
14	月	学習質問日⑥　諸活動なし			
15	火	第 3 回定期テスト(1, 2 年)			

◆１・２年生は７日から１４日まで、４０分で５時間の午前中授業を行います。昼食をとってから下校する事もできますので、ご家庭でお決めください。

※濃厚接触者の待機期間について

現在、濃厚接触者の待機期間が次のように変更になりました。

0 日目	1 日目	2 日目	3 日目	4 日目	5 日目	6 日目	7 日目	8 日目
接触日	待　機　期　間							登校可

接触日とは陽性者との最終接触日をさします。
ただし、10 日間を経過するまでは、検温など御自身による健康状態の確認等を行っていただくようお願いいたします。

陽性者に関しては、以下のようになります。
■無症状の陽性者（無症状病原体保有者）の療養期間
　検体採取日から１０日間→７日間に変更
※ただし、途中で発症した場合は、その日から１０日間

■有症状の陽性者
　発症から１０日間（変更なし）